

# 読者が選ぶ県内十大ニュース



## 西日本豪雨で62億円被害

寸断された桂栢山香町  
倉成の道路11月7日

7 7月6、7日に岡山、広島、愛媛各県を中心とした西日本豪雨は、大分県内にも大きな被害をもたらした。一時は千人以上の避難。県内では、河川、漁港などで計約62億円の被害。日田市では、築山山香町では市道が陥没し、軽乗用車が転落して2人がけがを負った。

豪雨後は、2017年の福岡・大分豪雨や台風18号による被災と全国から集まった支援を踏まえ、県内の官民で中国・四国地方の被災地を支援する動きが活発になった。



## 「甲斐キャノン」MVP

8 プロ野球ソフトバンクの甲斐拓也捕手(26)が、11月3日の広島との日本シリーズ第2戦で最高殊勲選手(MVP)に輝いた。

強肩が光り輝いた。捕球から素早く、しかも精度の高い送球でレギュラーシーズンでセ・リーグトップの95盗塁を誇る広島の前に立ちふさがった。前シールドで挑まれた6度の盗塁を全て阻止し、チームの2年連続の日本一に貢献した。

育成選手として入団してプロ8年目。昨季のレギュラーシーズン盗塁阻止率は12球団トップの4割4分7厘。2年連続のゴールデングラブ賞も受賞した。



## JRダイヤ改正に不満噴出

9 JR九州は赤字が連続する3月17日にダイヤを改正し、九州全体で運行列車を1日当たり117本削減した。県内は38本を減便。待ち時間が大幅に増えたり、別の交通機関への乗り継ぎが困難になったりするケースが生じ、利用者から不満の声が相次いだ。

同社は併せて大分市内8駅を無人化する計画に取り組み、同日に、12月から大分大学前、敷戸の各駅で実施。障害者団体などは安心して利用できないと見直しを求めているが、同社は残る5駅も予定通りに進める考えを示した。



## サッカー代表戦で大渋滞

10 大分県のトラブルが国内外で報じられた。大分市の大分銀行ドームで11月16日にあったサッカー日本代表の国際親善試合で、会場周辺が大渋滞となり、選手たちの到着は試合直前となり、キックオフに間に合わない観客も多数いた。

ドーム周辺の駐車場で車が殺到し、滞留したのが主な要因。雨で帰宅ラッシュの車が多くなったことも重なり、総延長は最大21キロに達した。

県は課題を検証。ルール作りを含めた対策を考え、来年秋のラグビーワールドカップで同じ問題が起きないよう万全を期す。

### 私の重要ニュース

紙面に掲載した80項目のニュース以外に、投票者が挙げた「私の重要ニュース」のトップは、高崎山自然動物園(大分市)の「サルが寄せ場に姿を見せない」という笑いを誘う表記もありました。2位は国東半島の「六郷満山が1300年」で5通、3位は国民文化祭と全国障害者芸術・文化祭での「皇太子ご夫妻が来県」で4通でした。

この後に、▽全国高校放送コンテスト・アナウンス部門で大分舞鶴高校3年の橋本由紀さんが優勝▽剣道の全日本選手権で熊本県豊の西村英久6段(中津市出身)が連覇▽大分大学でパワハラ警察官がヘルメットをかぶらずにバイクを運転などが続きました。

## 内川選手 2千安打達成

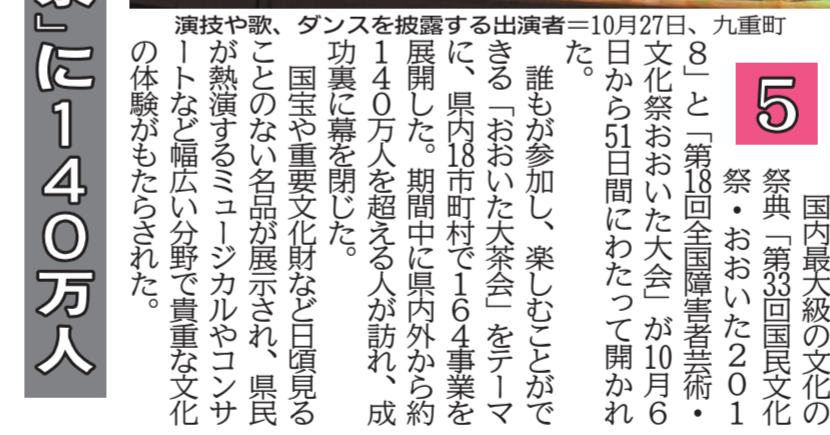
6 プロ野球ソフトバンクの内川聖一選手(36)が、大分工業高校出身で5月9日、史上51人目の通算2千安打を放った。真関係は1990年の大島康徳さん(日本ハム)、2005年の野村謙一郎さん(広島)に次いで、偉業達成になった。

残り25本でシーズンを迎え、5月5日あたりから1本とした。重圧から、その後はなかなか快音が響かなかったが、同日の西武戦、8回に第4打席で中前にはじき返した。

11年にソフトバンクに移籍。01年に横浜(現DeNA)入りし、11年にソフトバンクに移籍。プロ生活18年目で到達した大台だった。



通算2千安打を達成し、記念のボードを掲げる内川選手。5月9日、メットライフドーム



## 「国民文化祭」に140万人

5 国内最大級の文化の祭典「第33回国民文化祭」がおおいた2018年10月27日、九重町文化祭おおいだ大会が10月6日から51日間わたって開かれた。

誰もが参加し、楽しむことが出来る「おおいだ大茶会」をテーマに、県内18市町村で164事業を展開した。期間中に県内外から約140万人を超える人が訪れ、成功裏に幕を閉じた。

国宝や重要文化財など日頃見る機会のない名品が展示され、県民が熱演するミュージカルやコンサートのほか、幅広い分野で貴重な文化の体験がもたらされた。



## 大分川に「宗麟大橋」開通

4 大分市の大分川に架かる「宗麟大橋」と前後の道路区間が1月14日に開通した。河口部に橋を架けるのは1966年の弁天大橋以来、約半世紀ぶりとなった。

開通したのは庄の原佐野線の元町・下郡工区で、若短大北交差点から下郡工業団地入口交差点までの1.2キロ。市内中心部へのアクセス改善、周辺道路の通勤時間帯の渋滞緩和などが一定の効果につながっている。

東側に延伸して米良バイパスまで結ぶ0.9キロの工事も着々と完成すれば渋滞解消の効果がさらに大きくなる見込まれている。

# 尾畠さん 時の人



## スーパーボランティア

1 8月12日、山口県周防大島町に帰省していた同県防府市の藤本理稀ちゃん(当時2歳)が曾祖父宅の近くの海岸から1人で戻る途中に行方不明となった。

警察、消防などが100人以上の態勢で捜索中、日田川崎の尾畠春夫さん(79)は新聞報道で理稀ちゃんの不明を知り、ボランティアでの捜索を決意。15日に捜し始めてから間もなく、曾祖父宅の裏山で発見し、保護した。

命を救った善意の行動や、過去の被災地支援活動などが大きく報じられ、「スーパーボランティア」として注目された。

## 不明男児を捜索、発見



## トリニータ J1 復帰

2 大分トリニータが11月17日、J2リーグで2位となり、6季ぶりのJ1復帰を決めた。悲夢のJ3降格からわずか3年で国内最高峰リーグに再び昇格した。

今季は高い攻撃力で勝ち点を積み上げた。夏場に7位まで順位を下げたが、その後、見事に立て直して上位戦線に踏みとまった。

昇格争いは最終節にまでもつれた。大分は敵地で山形と1-1で引き分け、通算成績23勝7分け12敗で終えた。勝ち点76の2位で横浜FC、町田と並んだが、大分が得失点差で上回って自動昇格が確定。3度目のJ1切符を手にした。



## 耶馬溪山崩れ 6人犠牲

3 4月11日午前3時40分ごろ、中津市耶馬溪町金吉で山崩れが起きた。山肌が高さ約100メートル、幅約160メートルにわたって崩れ、土砂が山裾の民家4棟を直撃。このうち3棟の21・90歳の男女6人が巻き込まれた。12日間に及ぶ捜索活動の末、全員が遺体で見つかった。

専門家は原因を「地下水の影響で地中の岩盤が粘土化し、上部の層が滑り落ちた」と結論付けた。一方、引き金となった要因は「特定できなかった」。現場では復旧工事が進むが土砂は不安定な状態。付近の5世帯13人への避難勧告は継続中だ。

藤本理稀ちゃんを保護した際のの様子を語る尾畠春夫さん=8月16日、日田川崎の尾畠さん方